

「ファミリリー・カレッジ in 本多の森」について

主幹 杉林 賢明

(社会教育グループ)

一 はじめに

県立生涯学習センターでは、平成二年六月の石川県民大学校開校以来、六〇歳以上の方々を中心に、のべ十三万人を超える県民の皆さまに県民大学校講座を受講いただいています。そして、そのうち、のべ一万五千人あまりの皆さまが大学校や大学院を修了されています。

「ファミリリー・カレッジ in 本多の森」も、この県民大学校の講座ですが、主に三〇歳代から四〇歳代の子育て世帯の皆さまを対象に、お子さんと一緒にご家族そろって楽しみながらご参加いただける講座として、平成二十七年に新たに開設しました。

当センターでは、参加された皆さんに講座をお楽しみいただくのはもちろんですが、今回の受講をきっかけに、お子さんやその親御さんといった若い世代の皆さまにも生涯学習や県民大学校に関心をお持ちいただき、生涯を通じて学びを深めていただきたいと考えております。

また、今回の講座は、若い世代の皆さまがセンターに来館する貴重な機会でもあり、皆さまの来館が、センターや周辺の本多の森の賑わいにもつながればと期待したところです。

本稿では、この「ファミリリー・カレッジ in 本多の森」の取組みについてご紹介したいと思います。

二 講座の概要

「ファミリリー・カレッジ in 本多の森」は、夏休み中の八月一日(土)、いしかわ文化推進期間中の十月二十五日(日)、マナビイフェア in 本多の森期間中の十一月八日(日)、そして今春三月六日(日)(本稿作成時未実施)の4回、それぞれ別のテーマを設定して開催しました。各講座名と概要は次のとおりです。

○本多の森で一日留学(八月一日)

五か国出身の外国人が子ども向けのテーマで母国を紹介。

○親子で楽しくミュージカル(十月二十五日)

金沢市出身の劇団四季俳優加藤敬二氏を迎えトークショーとミュージカル体験を実施。

○親子で楽しむ将棋(十一月八日)

小松市出身の将棋プロ棋士橋本崇載八段を迎え講演会と将棋に関わるワークショップを開催。

○親子でワクワク・レシピを考えよう！(三月六日)

料理研究家コウケンテツ氏を迎え講演会とレシピ作りのワークショップを開催。

三 本多の森で一日留学

この講座は、イギリス、ロシア、ブラジル、中国、韓国出身の五名の国際交流員が講師を務め、それぞれが別々のテーマで母国の事情を楽しく日本語で紹介するものです。「国際交流員」は、地域レベルの国際化を推進するため、県や市町に勤務する日本語堪能な外国人青年です。

各国のテーマ

- 「イギリスの発明」
- 「ロシアの料理」
- 「ブラジルの自然」
- 「中国のパンダ」
- 「韓国のお祭り」

この講座のサブタイトルは、「親子で世界をぐるぐる」。参加者は、五か国の中から興味のある国の講座を三つ自由に選び、実際に世界各国を巡るイメージで、国ごとに分かれた会場を順次移動して受講します。

国際交流員は、写真や動画、そして流暢な日本語を駆使して、それぞれのテーマで母国を紹介していきます。途中、簡単な外国語を交えたり、クイズを出したり、民芸品を見せたりと、子どもを飽きさせないよう工夫しながら講座を展開。最初は緊張気味にみえたお子さんたちも、次第に国際交流員の話に引き込まれ、最後は食い入るようにスクリーンを見つめていました。



「ブラジルの自然」の講座風景

開催日が八月一日、夏休み真っ盛りの土曜日ということもあってか、事前に参加を申し込まれながら当日会場にお見えにならない方が多かったのは残念でしたが、事前のお申込みなくお越しになったご家族もあり、最終的には四十四組・百十四名の皆さんにご参加いただきました。

参加者からは、「他の国の話も聞いてみたい」、「今後も家族で楽しめる講座を」、「直接講師と触れ合えれ

ばもつとよかった」、「学校を通じて積極的な情報提供を」、「子どもが外国に関心を持つきっかけになれば」：など、様々なご意見・ご感想をお寄せいただきました。

四 親子で楽しくミュージカル

この講座では、金沢市出身の劇団四季俳優の加藤敬二さんを講師にお迎えしました。

前半のトークショーでは、加藤さんがミュージカルの世界に深く関わるきっかけとなったニューヨークでの「キヤッツ」との出会いやその魅力などについてお話しいただきました。講座に参加した子どもたちに向けては、「その道を極めるには、好きなことも嫌いなことも人の三倍がんばる」といったメッセージもいただきました。質疑応答の時間では、加藤さん自らがマイクを持って子どもたちに歩み寄り、質問にひとつひとつ丁寧な、ユーモアも交えながらお答えいただき、その様子から加藤さんの気さくなお人柄がうかがわれました。

後半は、広い会場に移動してのミュージカル体験の時間。ほとんどがミュージカルは初めてという子どもたちで、体験に先立ち、リズム感、発声、歌唱、ダンス、表現力といったミュージカルの基本要素について、加藤さんからそれぞれのポイントを劇団四季の指導法をベースに説明していただきました。

ミュージカル体験では、金沢ティーンズミュージカル(KTM)から十名のお兄さん・お姉さんたちにも実演指導の応援に駆け付けてもらいました。小グループに分かれての指導では、子どもたちは、KTM

のみなさんの演技をお手本に、懸命に振り覚えようとしている姿が見られました。初めは見よう見まねの子どもたちでしたが、講座が終わりに近づく頃にはリズムに乗ってのびと演技していました。



ミュージカル体験の時間

この講座には、四十組・九十四名の親子が参加しました。参加者からは、「加藤さんから心に響く言葉もらった」、「子どもがいきいきしていた」、「第一人者に触れる貴重な機会になった」、「気持ちの明るくなるイベントだった」：など、好意的な感想が数多く寄せられました。

五 親子で楽しむ将棋

この講座では、小松市出身の将棋プロ棋士橋本崇載八段を講師にお迎えしました。

橋本八段は日頃、トップ棋士として各棋戦で活躍されている傍ら、従来の棋士のイメージを変えるユーモアあふれる発言や独特の風貌で将棋界以外からも注目を集めています。

また、将棋の普及にも熱心に取り組みされており、今回の講師も普及活動の一環として快くお引き受けいただきました。

講座の前半は橋本八段の講演。お父さんに将棋の手ほどきを受けた頃のこと、自宅近くの将棋道場に通っていた頃のこと、プロ棋士の登竜門奨励会でライバルたちとしのぎを削った頃のこと、将棋の勉強に専念するため親元を離れ東京で一人暮らしを始めた頃のことなど、プロ棋士になるまでの道のりを実体験に基づいてお話しいただきました。どのお話も、目標をしっかりと立て、目標に向かって努力を続けることの大切さが子どもたちに伝わる内容でした。また、参加された親御さんに向けては、ご自身の経験を踏まえて、「子どもが何か好きなものを見つけたら全力で打ち込めるようぜひ応援してあげてほしい」というメッセージをいただきました。

後半はワークショップ。ワークショップでは紫錦台中学校将棋部の皆さんに橋本八段のアシスタントをお願いしました。橋本八段はステーションの大盤を使って、駒の動かし方やそれぞれの駒の特徴、将棋の基本的な戦術を説明します。参加した親子は時折、大盤に目をやりながら橋本八段の説明に耳を傾け、手元の駒を動かしています。橋本八段が詰将棋の問題を出すと、王様の詰ませ方が分かった子どもたちが次々に手を挙げ、橋本八段に当てられた子どもは喜び勇んでステーションに上がり大盤の駒を動かしました。そして最後に橋本八段から将棋の歴史などに関するクイズが出題され、すべてのプログラムが終了しました。



橋本八段の詰将棋に挑戦

この講座には五十一組・百一十四名の親子が参加しました。参加者からは、「橋本八段のお話が面白かった」、「将棋の楽しさが分かった」といった意見があった一方、「橋本八段との対局があればよかった」、「将棋のルールを知っている子どもには少し物足りなかった」といった意見や、講座の運営に関して厳しいご意見もいただきました。

六 おわりに

「ファミリィ・カレッジin本多の森」は、平成二十七年が初めての実施ということで、手探りの面があったことは否めません。

センターでは、この講座を平成二十八年度も実施することとしていますが、特に若い世代の県民の皆さまにとってより魅力ある講座となるよう、アンケートの結果とあわせて、今回の実施内容を十分に振り返る必要があると考えています。

そして、参加者にご満足いただけるよう、内容の充実や運営の改善に取り組み、県民の皆さまに向けて、この講座に関する情報をこれからも積極的に発信してまいります。